

シノドス総会第1会期（2023年）「まとめ」報告書：ワークシート案

このシートの目的は

1. 23年10月のシノドスの成果を地方教会レベルで受け取ること。
2. 各地方教会において、シノドスの道の会話を続けること。

（カッコ内の数字は、「まとめ」報告書内の項目を表しています）

1. 1) ~3) のため、下記のステップを行います。

- 1) 10月総会の体験を伝える、
- 2) 「まとめ」報告書を公表し、それについて作業する。
- 3) 『神の民への手紙』をより広く伝える。
 - ・すでに実施したこと、これから実施する必要のあることのリストを作る。
 - ・参加者の証言
 - ・プレゼンテーション
 - ・記事とインタビュー
 - ・「まとめ」の翻訳と公表
 - ・「まとめ」について作業するための要約とワークシート

2. シノダリティについて継続して学ぶために、小教区、教区、国、大陸レベルの各地で何ができるでしょうか。

- ・「まとめ」報告書の20テーマから三つの優先課題を選ぶ（たとえば、各部から一つずつ）。
- ・地方教会レベルで今すぐ実践できる具体的取り組みを、「まとめ」のさまざまな「提案」から三つ選ぶ（実施可能な提案のリストを参照）。

3. さまざまな会合や集い（小教区、運動体、共同体、教区などの中の）や、参加型の団体において、霊における会話というシノドス的方法を具体的に試みるために、どのような提案ができるでしょうか（2. j）。

- ・ファシリテーションの技術をもつ人・団体を特定する（2. k）。
- ・霊における会話の訓練、耳を傾けることと識別の訓練、ファシリテーターのための訓練を提供する。

4. 洗礼を受けたすべての人がシノドスの歩みにより深く参加するにはどうすればよいでしょうか（1. m）、また、周縁部にいる人たちの声にもっと耳を傾けるにはどうすればよいでしょうか（16）。

- ・貧しい人（4）、移住者（5と6）、若者と女性（6）に耳を傾け、意見聴取するために、具体的にどのような取り組みができるでしょうか。
- ・司祭の声に耳を傾け、シノドス的体験に参加してもらうために、具体的にどのような手段を講じることができるでしょうか（1. nと11）。

5. 「検討課題」の中から、地域の課題に関連して探求すべき1、2のテーマを選び、神学者、教会法学者、司牧指導者からなる委員会に立案してもらいます。

6. シノダリティのための地元のリソース、取り組み、優れた実践例など、他の人が知ったら面白いと思われるものを2、3、特定して共有し、シノドス事務局のウェブサイト (synoderessources.org) に掲載するため、同事務局に送ります。

7. わたしたちの文化の文脈の中で、シノダリティの定義と理解を深めるためには、どのようなことができるでしょうか。

・「まとめ」報告書の「1. シノダリティ：経験と理解」を出発点として用いて、自分自身の文脈からシノダリティの理解を深め、地域の文化の中で納得できるシノダリティ像を提示する。

8. シノダリティの霊的側面を、地方教会レベルでどのように実践し、深めることができるでしょうか (3. k, l, m)。

・シノダリティのテーマに関連する、さまざまな霊的实践案を作成する。

・民間信心の場におけるシノダリティへのアプローチを開発する。

・とくに四旬節と復活節の間、霊的实践の提案をすることによって、シノドスのために祈るよう人びとを励ます。

9. さまざまな参加型の団体（評議会）(18) が、「まとめ」を受け取り、次期会期の準備のために行われる識別に加わるようにします。

・「まとめ」報告書 (12. k) に照らして、これらの諸団体において、シノダリティが具体的にどう生きられているか（とりわけ参加と権威の側面）を見直す。

10. 養成センターや 神学部とともに。

・シノダリティの養成のために具体的取り組みを実施する (14)。

・初期養成と生涯養成の責任者への意見聴取の開催する (14. o)。

・調査すべき諸課題に取り組み、司教協議会に提案する意見書を作成する。